



第4回ふれあいの船



北海道5日間

市内の小学校6年生を対象とした「ふれあいの船」事業が、A班(7/20~7/24)・B班(7/28~8/1)の2班に分けて実施されました。参加者はA班189人B班223人で合計412人の参加者でした。

5日間の旅の中で子どもたちは人や自然とふれあい、みんなで協力しながら、アイスクリーム作り・木工クラフト・サイクリングなどにチャレンジしました。



A班出発式 児童代表あいさつ 大賀小学校 助川綾香

私は、以前大洗港で「さんふらわあ号」を見たことがあります。白い船体に大きな太陽。今日は、あの船に乗って189人の仲間と共に北海道へ出発します。

富良野でのサイクリングやアイスクリーム作り。「自転車で走る丘からは、どんな景色が見えるだろう。」「手作りアイスクリームは、どんな味だろう。」旭山動物園の北極グマやアザラシにも会えるかと思うと、とても楽しみです。

私たちは、「ふれあいの船」の研修会で、たくさんの友達と知り合うことができました。

これからの5日間で、お互いのきずなを深め大切な仲間を増やしていきたいと思います。そして、この旅を通してたくさんのことを学び、今よりも成長して帰ってくることを約束します。

この「ふれあいの船」で、私たちが出発できるのも、今日のために準備して下さった方々や引率して下さる先生方、そして私たちを送り出してくれた、お父さん・お母さんのおかげだと感謝しています。本当にありがとうございます。

小学校最後の夏休み「いつまでも！心に残る！思い出！」をたくさん作ってきます。



B班解散式 児童代表あいさつ 檜沢小学校 小室孝平

今回の4泊5日のふれあいの船で、心に残った思い出を3つ上げます。

1つ目は、楽しかった思い出です。それは、旭山動物園です。動物をまじかで見ることができ、普段に見ることのできない動物の野生の動きを見ることができました。

2つ目は、みんなで協力した思い出です。それは、アイスクリーム作りです。材料をまぜるのが大変だったけど、みんなで作ったのでとてもおいしかったです。

3つ目は、約束を守って生活できたことです。B班のみんなが、自分の係の仕事に責任を持って取り組むことができました。ホテルや船内の部屋などの掃除も、一生けん命できました。

これらの経験した思い出を忘れずに、守らなければいけない決まりを守って、残りの小学校生活を送りたいです。

ぼくたちにとって、この「ふれあいの船」は小学校生活最後の夏休みをたくさんの友だちと過ごすことのできる、とても楽しい船旅でした。

